「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導案（略案）例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ①学年・組 | ②職名・授業者氏名 | ③教科 | ④ペアでの話合い活動 | ⑤グループでの話合い活動 |
| １年１組 | 教諭・日田　太郎 | 算数 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 |
| ⑥単元名(題材名) | 水のかさをくらべよう |
| ⑦本時のねらい | 形の異なる容器に入った水のかさについて、同じカップを使って何杯分か比べる活動をとおして、任意単位を用いて数値化する比べ方を見いだせるようにする。 |
| ⑧本時の評価規準 | 【思考・判断・表現】カップの特徴に着目し、形の異なる容器に入った水のかさの比べ方を見いだしている。〔ノート〕 |
| ⑨展開 | めあて | 水はどちらに　どれだけ　おおく入るかくらべよう |
|  | 課　題 | どうやって　くらべると　いいかな。 |
| 手立て | 「Ｃ:努力を要する」状況の児童への手立て・大きさの異なるカップで比べたときと結果が異なることに着目させ、同じカップの大きさを使う必要性に気付かせる。 |
| 「特別な支援等の配慮を要する」児童への手立て・抽象的な事象の認識が苦手な児童に対して、カップを使って実際に水のかさを比べさせる。 |
| まとめ | おなじカップで、水をいっぱいに入れてくらべるといい。 |
| 振り返り | 水のかさも、ながさや　ひろさと　おなじように、いくつぶんでくらべられたよ。 |
| 板書計画　　　　めあて　水はどちらに　どれだけ　おおく入るかくらべよう。直接比較間接比較の写真うつしかえたらあふれてしまったながさや　ひろさと　おなじようにいくつぶんで　くらべられないかなかだい　どうやって　くらべると　いいかな。算数ノート黒板（子どものノートに合わせて書く）・おなじカップをつかう。　・カップいっぱいに水を入れる。マスを用いた長さ比べの図カップにすくなく入れたら　なんばいかかわるよカップの大きさがちがうと　かずがかわるよまとめ　おなじカップで、水をいっぱいに入れてくらべるといい。  |